京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久神一郎

發行所 京城西署西小門通（電話六六三） 京城新報社

雜錄

漢城より

十月十一日 熊浦逸人

▲人は向上進步せざる可からず、國家社會亦勿論爾り、之れ其の存在の意義を完ふする所以也、而かも其の進步向上や人は人として、國家は國家として社會は社會として先づ其が存在の必要條件を具備せざれば能はず、

▲例へば河川の氾濫を防ぐべく築かれたる堤防の如きものが、百里の堤防も僅かに一尺の破潰の個處あれば、水は直ちに其隙を突いて慘害を逞ふするに至るべし、必らずしも百里の堤防全く用を爲さゞるには非らず、流域中水を被らざる地方もあるべし、即ち之れ有るべけれども百里の長堤、其が用を完ふしたりとは云ふ可からざる也、

▲人、國家、社會が存在すべく必要なる條件は其の固有なるものと普通たるものと、實、多種多樣也、而かも一つも閑却すべからず遺漏すべからず、

▲存在の必要條件悉く具備して三者は初めて向上進步するを得べく、又初めて存在の意義を完ふするを得べし、存在の意義を完ふする者は、天意に適する者也、善也、善也、其の之れを完ふする能はざるものは天意に適せざる者也、不善也、若し又自他の存在を防害し或は破壞する者は天意に逆ふ者也、惡也、

▲敍上の推理を以て吾等は一例を取り來つて試みに之れを較べんか、

▲聞く京城民團立高等女學校は近く教育展覽會を開かんとす、誠に結構なる事也、而して教員は生徒に課するに、其の自らの考案に成れる作品數點の出品を以てせりと、因て生徒等は小さき頭を痛め、乏しき經驗を辿りて製作に從事しつゝあるが如し、之れも結構也然れども玆に結構ならざる一事あり、

▲何ぞや、夫れ不知を不知とし、不能を不能とするは人の最も難しとする處これを以て兒女に責むるを得るは、德育に就て最終の目的を達したる上のことならざるべからず、女學校の教師が其の生徒に課したる出品の如きは女性殊に少女の性情を察せざるの甚だしきものにあらずや。

▲生徒は如何にもして自ら作らんと欲す、又如何にもして他に優れたるを作らんと欲す、而かも自らの力能くせざるを覺るや、他人の力を借りて製作する、其の母姉も怪ますして之れを容るし、遂に他を欺き自らを欺きて悔みざるに至る、吾等は此る事實あるを知る。

▲道は百里の堤防中、一尺の破潰に過ぎざるべし、然れども教師は其が職責を完ふしたりといふ可からず、生徒が向上も進步も爲めに阻碍せらるゝもの必ずや多からん、少しく業々しきに過ぐれども蓋し萬物に存在の意を賦與せる即ち教師は教師たる職責を有せしめんとするの天意に適せざるもの也、不善也、吾等は斯く結論して吾等の推論の異なるを信せんと欲す。

雜報

雄基灣の概況（上）

雄基灣は豆滿江の南山灣と相並び灣口東南に開き水尋深く灣內廣く大船の泊するに適す對岸の東南方は露領に接し東北は清領に接す日本海を往復する滊船の入港月六回にして同港より浦鹽斯德へ六時間にして達す極北の一良港として世人の注目する處にして先年露國は礙與と交換せんことを要求したることあり朝鮮海の漁業區域は雄基灣より東南約七里の鹿島を以て限りとし其以北は露領沿海州に屬するを以て本邦漁民の北方に來る者は此地を以て最終の根據地となすもの多し雄基灣を中央として其西南三里にして羅津灣あり東南五里にして西水羅あり共に良港灣の名高し即ち羅津灣は北緯四十二度四分東經百卅度十一分に位し清津以北第一の良港なり港口は西南に面し前に馬島の横はるあり灣內廣く水尋深く軍艦の寄港に便なり灣の東角西北面に羅津里あり夏季露領に出稼するもの多く此地貝類の產額多し西水羅は造山灣の左翼深く海中に突出したる朝鮮最東端の海角に位し東北は豆滿江を隔てゝ直ちに露領に接し西南馬島を望み其西南の造山灣に向ふ處乙浦項錨地と爲し水尋深く露鮮の海岸線は此處に於て區別せらるゝ最も要衝の地點に屬せり近時本邦人の經營に成る輕便鐵道の敷設工事に着手し有名なる渾春市街に交通の便を開かんとす渾春は支那領にして露鮮と境域を接す人口約一萬三千貿易頗る盛なり此地より三日間にして陸路浦鹽に交通するを得露國品及び日本商品等の諸物品に至るまで浦鹽港より輸入するを常とせり（未完）

各種學校の現況

本月一日現在各種學校及幼稚園の狀況を聞くに一時は退學缺席等不振の聲高かりしが漸次舊態に復し九月下旬以來各種學生何れも熱心に通學しつゝあるが今朝鮮人側各學校職員生徒數を記さんに官立學校師範專門、高等高女等通じて九校にして職員百四十九生徒一千七百三十八公立學校實習普通々じて九十校にして職員四百三十六生徒一萬四千五百六十二准公立學校普通學校四十一校にして職員百五十九人生徒四千二百十四人私立學校高等、實業、普通、各種通じて二千二百七十校にして職員七千三百五十五生徒十二萬二千九十七人なるが何は日本人側小學、中學、高女商業、專門、各種學校幼稚園等通じて百四十四校にして職員六百四十七人生徒數一萬六千五百四十二八なりと

滿洲の果樹栽培

滿洲に於ける果樹栽培は頗る有望なるが本年斯道の專門大家たる南、玉利兩博士の來滿あり實地踏査の上益々該事業の有利にして殆んど天與の樂園と極言するも過言に非らざる事確められ斯業は漸く勃興の徵を示さんとせり然るに是迄散見する邦人の果樹栽培業者は何れも自己が智識範圍に於て其種を撰擇し之を栽培し居れるが爲め品種の大部分は日本產又は日本に於て栽培し得る外國種のみを取寄せ之を滿洲に栽培せるもの十中八九なるが如し然るに滿洲は日本內地と全く氣候風土を異にし遙かに日本以上の良種の栽培に適し日本に於て到底不可能なるものも何等の故障なく好結果を得るものなれば其果實は滿洲產に及ばざる事遠く遂に失敗に歸せんとせり故に今後の斯業者は須らく日本在來種以外の最良種苗を栽培する必要あり現に山東省附近及び天津近傍に於ては嘗て邦人の知らざりし良種少からず故に此等を滿洲に移植するは斯業上最も有利なるものにして日本在來種の如き漸次驅逐せらるゝに至るべし然るに支那にては此等の需用に應ずべき大規模の種苗商なく斯業家が之を栽培せんとするに當り先づ此の難關に逢着すべく解決する必要あり而して我農事試驗場の如きは方に其任を完ふすべき使命を帶ぶるものなれば此際速かに其氣運に應じ適當なる種苗の繁殖を計り以て斯業家をして方針を誤らしむることなく之を利導するの道を講せられたきものなりと一般斯業家は切望し居りと云ふ

釜山近海の漁況

時下秋季に入りたるを以て沿岸一般の各種漁業は漸次盛況を呈し來れり然れども未だ鰆鯡等の漁季に入らざれば釜山を根據とせる漁船は先月と同樣にして打瀨手繰一本釣等なり打瀨は目下加德島沖合より釜山に至る間約三十艘の出漁船を觀漁獲物は主として小鰈にして一回の出漁七八十乃至百貫位を漁獲し其水揚高平均十圓內外なりと云ふ手繰及一本釣は近來馬山口灣方面に出漁し當地に歸港す其漁獲高は先月と大差なし而して例年九月は漁獲數量增加するも本年は天候常に不良にして出漁日數極めて少なく釜山水產會社水揚高に於て昨年同月に比すれば魚獲數量約二割七分を減少せり然れども價格に於て約三割の高價を呈せるを以て總水揚高は却つて增加せりと

講談

大岡政談 第九十七回 越後傳吉

旭堂南陵講

越「コリヤ〜氣を靜かに持ぬか、白痴者奴ッ、其方の申すことは前後不揃ひで判然相分らぬ、越前は其方に聞所番所のことは聽てをらぬぞ、たゞ越後へ妻を從れて參つたかといふのぢや 家「金さん、金さん、いふな、いふたらい」横に聽て居りました家主は、オヽ有難いと思つたから金之助の袖を引いて かね〜……」これを見た傍らに控へて居る役人 役「コレ〜餘計なことをするなッ、それは何ぢや袖を引ッ張つて……」家「恐れ入ります」金之助は 金「左樣でございます、ケ、決して爾所なんどは破つた覺えはございません」別にいはなくつても宜いのに念を押しやアがつた 越「從れて參つたか 金「ヘイ參りました 越「其方其所に控へてゐる者を存じ居るか、何うぢやッ 金「ヘイ……、こりやア珍らしい、エヽ傳どんでございます 越「控へろッ、傳どんとは何ぢや 金「ヘイこれは三浦屋の番頭でした、正直傳どんでございます至つて正直な誠に好い番頭でございました 越「其方何ういふ馴染合ひで知つて居たのぢや 金「エ、申上げます、私の女房は三浦屋で可祝といふ名前で出て居りました者でございますが、その時分に私が可祝の方へ切々と通ひました、可祝の方でもまた私に惚れて居りまして…… 越「コレ〜餘計なことをいふな白痴者奴ッ 金「何うも恐れ入ります 越「それで何ういたした 金「その可祝の方で流連をして居りますときに五十兩の金子を私が置忘れました、そのとき私が紛失をしたといつて騷ぎ出した所へ傳どんが來まして、その五十兩の金子は私が片附けて置たと、斯ういつて出してくれました、ところで後で調べて見ると、私の夜衣の袂からその金子が出まして全く私の置忘れたのが分りましたから、傳どんに前さんが今れ金を片附て置たさいひなすつたが、こりやア何ういふ譯だといふと三浦屋の二階で金子が紛失したといふ噂が立ては三浦屋の名前に關はる、何れ紛失したものならば遲いか早いか露顯出るに決つて居ると思つたから、で一時に取替へ申したと、斯ういひまして……なか〜傳どんは怜悧な男でございまして、私にもたび〜異見をしてくれました 越「何の異見をいたしたのぢや 金「ヘイ、三日も流連をして居りますと異見をします、この傳どんは不思議な男で、女郎屋の番頭でゐながら長い間流連をしてゐると異見をします、それゆゑ三浦屋の御異見番といつて、評判が立ました」越前殿笑はれて 越「左樣であるか、シテその可祝は如何いたした 金「乃父にさういつて落籍して貰ひ、女房にいたしましたが、本名はいわと申し、宅へ入れましたのち黴毒が出たのか、始終身體が不健康ので、草津の溫泉へ入れに參りますと身體が好い鹽梅に癒りましたので此岩は此所まで來た序に一遍親里を調べてくれと申しましたから 越「ムヽ 金「何所だと尋ねると、越後の高田在、この守袋を見てくれと出したのは、もう千切れ〜になつて字が分りやアしませんが、越後の高田とある次には上の字が一字破れて、田といふ字と村といふのが見ねて居ります、さうしてその下に城の字がございまして、餘がなくなつて居ります、また庄の字が一字と

け出分つて居りしたか
ら越後の方へ探しに參りました
殿耳を傾けて聽して居られたが
、それは何か、何うして親な
名なりか守袋でなければ分
金「エ、當人の申しますに、八歲
觀に伴れられて淺草觀音に參詣
其時乃父に別れて松五郎とい
はれ、十二の歲まで育てられ
三浦屋へ賣れたと、斯う申して
す、當人もモウ八歲の事でご
たから自分の名前だけは知つて
す、エ、いわと申します、れ爺
城代といふ苗字が附て居たと
を覺ねて居ると申しましたか
分らぬ事はあるまへと出掛た
います 越「ハア左樣か

京城新報

振はざる長官會議 各部長官は啞か

統監の施政は合議制であつたか、將た獨裁制であつたか、官制に依つて見れば獨裁制の如くであつた、各參與官は政務官で無くして事務官の如くであつた、併し官制に無い參與官會議なるものが設かれて政務を討究し、統監の諮問に應じ、他各自の管掌せる事務に關する問題を提出附議し、決議を以て統監に稟申し、其の決裁を經て之れを實施すること恰も我維新後の參議の會議の如きものであつた、當時余輩は、這は一面に於て政務の機密漏洩の虞れありと爲し、統監政治の上に有害なることを論じた、同時に他面に於て各員をして最善の努力を爲さしめ且つ政務及事務の統一を計るの利益有るを認めざるを得ぬのであつた。

併合の結果統監府は廢され總督府が置かれた、其の官制に依て總督の下に各部長官が任命され、長官會議が開かるゝことゝ成つた、此の會議は外觀恰も前の參與官會議の如きものである、而かも其が內容の果して參與官會議と同樣なるや否を知らぬ、或は單純なる總督の諮問機關であるか、又は各員が案を立てゝ之れを附議するを得るか、其はサテ措き、近者長官會議の甚だ振はざるを聞く、尤も參與官會議と雖も寺內將軍着任の後は全く自動的ならず被動的に意見を陳述するに過ぎずとの噂もあつたが、今次半島統治機關の變更されたるに因て設かれたる長官會議は更に一層甚しきものありと傳へらるゝのである、余輩は各部官長が政務に就て、其の會議に於て十分に意見を主張し得るの權能を附與されたるや否やを知らぬ、去りながら既に會議が開かれ、問題が提出され、之れを討議するに當り、例へば度支部の所管の問題に對して農商工部長官が意見を陳べ、他た農商工部の問題に就て司法部長官が意見を述べ得る以上は、少くも或意味に於て內閣會議の性質を帶びたるものである、然者總理大臣とも見るべき總督が問題を提出したならば各員は各自の所信を忌憚無く發表して爭るべきでは無いか、總督は固より之れを希望するであらう、然るに何事ぞ頃者長官會議は宛然啞の會合の如く、總督提出の問題に對しては勿論各部長官の提案に就ても殆んど是非の見を吐くもの無しと聞く、如斯者長官會議は有名無實と申すべく、其の何の爲めに開かるるやを知るに苦しむのである。余輩の聞く處にして誤無くんば、寺內將軍は極めて宏量なる人で、政務と云はず事務と云はず、其の採否は別として何人の進言にも悅んで耳を藉すとのことだ、去れば近來の長官會議に對しては想ふに物足らず感ずるであらう、固より尋常なる官吏氣質よりすれば、長官に對しては一向に從順に鞠躬如として唯命維從ふを以て多くの場合、地位の安全を期し得べけんも、苟も其職に在りて其の責を盡さゞるは卑屈である、不忠實である、總督と雖ども神ならざる限りは萬能なる能はず、萬能ならざればこそ補佐の要もあるのだ、長官會議は一つの補佐機關である、其の補佐機關が其本分を盡さんことは余輩の切望に堪へざる處である、門外漢の見其の中れるを必とせざれども、敢て一言することゝ爾。

東京電報

▲**進水式下檢分** 來る十五日橫須賀軍港に於て擧行の戰鬪艦河內進水式當日には天皇陛下行幸あらせらるべきに付き日根野侍從武官は昨日下檢分の爲同地に至り關係職員と打合せをなせり（同上）

▲**東宮殿下の還啓** 皇太子殿下にて本日御還啓遊ばされたり

▲**宣言書と我政府** 葡萄牙假政府よりの宣言書は去る七日我國に通牒到着せしが我政府は未だ承認を與へず（同上）

▲**勸業債券の募集** 今十二日より募集せらるゝ勸業債券は小口の申込高五萬餘圓と豫約的に申込める日本赤十字社の數十萬圓並に某會社の數十萬圓等大口の外各地方よりの申込は枚擧に遑あらざる盛況にて此の分にては締切迄にて數倍に達すべしと（同上）

▲**小村外相の辭職說** 關稅改正問題に付き小村外相の對英策は盡く英國朝野の反感を招き加藤駐英大使とも意見の衝突を來して益々不良に陷り且つ近來健康勝れざる爲め辭意あり更迭說盛に傳ふる（十二日）

▲**免官者の抗議提出** 行政裁判所評定官免官となり被免評定官は首相に抗議書を提出せり（同上）

▲**新橋露都間の連絡** 來る四十四年一月一日より新橋露都間の連絡輸送を開始すべし（同上）

▲**日英兩國の不承認** 英國政府は葡國新政府を承認せずと聲明す我政府は英國と同一の態度に出づべし

▲**造船總監の罷免** 海軍艦政本部出仕遊艦監督官海軍造船總監近藤基樹氏は本職を免せらる（同上）

▲**第一旬輸出超過** 本月第一旬間に於ける外國貿易輸出超過額は四百三十萬五千圓なり（同上）

▲**日蓮宗活動準備** 日蓮宗に於ても朝鮮の宗教界に大活動せんとて目下布敎の方法並に經費支出の點に付き協議中なり（同上）

▲**宮家々令の更迭** 北白川宮附家令麻生三郎氏は病氣の爲め辭任し式部官山邊知春氏就任せり（同上）

▲**我討伐隊の困苦** 陸軍省着電に依れば官蘭方面の討伐隊は天候不良の爲め困苦甚しく且つ道路橋梁等は破壞せられ物資はコクバン方面に輸送しつゝある狀態にして新竹の鐵條網は未だ連絡せず併し衛生狀態は一般に良好なり（同上）

伯林電報

▲**兩皇帝會見の地** 露帝及び獨逸皇帝の會見はホッツダムに於て行はるべし（十二日）

▲**伯林大學の百年祭** 伯林大學の百年祭には全獨逸及び墺太利大學代表者參列すべし（同上）

▲**露國飛行家墜落** 露國の空中飛行家アイウイッチ氏は飛行機より墜落して逝去せり（同上）

雜報

▲**李王家の職制內容** 此程來圖書寮に於て編纂中なりし王家の職制は愈々來る十七八日頃發表せらるゝ由なるが同職制によれば宮內省の所管にして王家の職員其他は委任により朝鮮總督是れを監督する筈なるが王家の經費豫算編成等は勿論宮內省に於て是を爲す筈なりと云ふ

▲**寺內總督の招宴** 寺內總督は十二日午後七時より總督官邸に左記諸氏を招待晩餐會を開きたり
大久保軍司令官、山縣政務總監、李完用伯、朴齊純、高永喜、趙重應、閔丙奭、李容植、金允植、尹德榮、趙民熙、李秉武の各子爵、倉富、石塚、荒井、木內、有吉、宇佐美の各部長官、宇佐川東拓總裁、石井少將、俵副總裁、韓昌洙、趙羲淵、金善熙、張錫周の各男爵、國分局長、小松局長、兒玉秘書官、外波大佐、前間通譯官、十時副官、藤波通譯官等

▲**元次官の授爵說** 韓國政府時代各部の次官として功勞ありたる向へ近々男爵を授けらるべしとの說あり、尙朝鮮人側に於ては今回授爵洩れとなりたる、故金玉均氏の遺子其他へ近々授爵の御沙汰あるならんと傳へらる

貴族婦人日本觀光 朝鮮貴族婦人連は日本內地の文物習風を觀光せんものと思ひ立ち來月三日の天長節を期し一同打連れて渡日の途に上る由なるが右は伯爵李址鎔夫人其他卒先奔走中にて既に三十餘名の同行を約したる者ある由なるが當日迄には尙は增加すべく一行の肝煎としては兒玉伯同夫人同行萬事を斡旋すべしと云ふ

俞氏の爵記返上 新に男爵を授けられたる俞吉濬氏は十一日寺內總督まで一書を致し爵記返上の奏聞を請願に及びたる由なり

●**追加豫算の調了期** 特別會計歲出其他豫算外支出に關する明治四十四年一月までの豫算は十月十日附朝鮮總督府官報を以て發表されたるが更に來年二月より三月迄に至る追加豫算も同日附を以て決定さるゝ筈なりしも種々の計劃其他事務輻輳の爲め其の運びに至らず目下度支部に於ては切りに各部の豫算を糾合しつゝあるを以て遲くとも本月中には決定發表の豫定なりと尙ほ明四十四年度に於ける豫算も目下各部とも編成終了して度支部に一纏めとされつゝあればその決定を見るは十月二十日頃ならんと云ふ

●**各地暴徒處分結果** 其の筋にて調査に係る本月一月より八月に至る朝鮮各地暴徒處分結果を聞くに各裁判所に於て暴徒として受理せる人員は二千二百十八人なるが內有罪として絞刑の宣告を受けたるもの六十名同懲役終身十八名同十五年以下四十名同十年以下二百九十名同五年以下百三十九名同三年以下三百六十一名其の他十五名外十一名は無罪不起訴千三百七十三名なりと

●**憲兵管轄區域に付** 昨紙東電に見ゆる如く、今回朝鮮憲兵隊管轄區域を定められしが這は從來成文なきを新たに成文として發布されたるまでにて同管轄區は以前よりも右の如き區域に於て取締るものなれば今回の發布に付き毫も變更を見ずと云ふ

●**總督送別會見合乎** 日本人商業會議所にては市民有志と計りて寺內總督の送別宴を張る筈なりしが觀光團歡迎送の爲め忙殺され且つ總督の出發も間近となりたるを以て右送別會は見合せとなるべしといふ

●**仁川通水式相談會** 仁川水道通水式も愈々來る二十三日と決定し目下設備餘興等夫れ〳〵準備中なるが來る十五日午後二時より仁川民團に於て市民有志會合の上通水式に關する相談會を開く筈なりと

●**花月樓の迎送宴** 十一日午後七時より花月樓に於て新任京畿道長官檜垣直右氏及び大庭京城府尹の歡迎會を兼前京城日報社長大岡力氏の送別宴を張りたるが來會者百餘名頗る盛宴にして歡を盡し散會せるは九時過なりき

●**大岡氏の送別會** 京城記者團は前京城日報社長たりし大岡力氏の爲めに十三日午後六時よりソンタクホテルに於て送別宴を催す筈なりと云ふ

●**水原憲兵隊移轉** 水原憲兵隊本部は近日中京城に移轉することゝなり現在の內部にその本部を置く筈なれど內部の移轉期日は未定なれば一時他の廳舍を充用することゝなるべしと云ふ

値下社告

本京城新報儀去る四十年十一月創設以來幾度か厄難に罹り候も幸にして無事茲に滿三ケ年を經過し以て今日に至り候ことは偏に江湖愛讀者諸君御同情の結果と深謝の至りに不堪候而るに近來先輩の同業者にして廢刊する者續出致候に就いては此際本紙は責任を全ふせんが爲め弘く擴張の意味を以て本紙の値下げを斷行し從來一箇月分三十五錢なりしを左の通りに改訂仕候

京城新報 一ケ月分金三十錢

但し支局賣捌所等より配達の分も同樣の事

右の通り勉强仕候に付ては此際遠近に拘はらず續々購讀方御申込相成度候

十月一日 京城新報營業部

●**觀察團員の寄附** 別項朝鮮觀察團の一行は馬山港に於て始めて朝鮮人學校を視察し朝鮮に於ける教育機關は豫想外に完備し居たるに感じ一行より標本費として金數十圓を寄附したりと

●**仁川紐峴乘降客** 十一日の仁川驛乘客は百二十九名降客百十名にして紐峴乘客は百四十八名降客は二百五十名

●**民團決算委員會** 京城民團にては十二日も前日に引續き決算委員會開會

●**松本教授の逝去** 官立漢城師範學校教授松本宗治氏は去九日夜十一時遠逝せり行年三十二、氏は鳥取の人にして明治三十八年東京高等師範學校理科を卒業し次いで廣島師範學校敎諭となり四十一年四月前記教授を奉職せり葬儀は十一日午後二時日韓禪寺に於て執行せしが日鮮教育家生徒五百餘名の會葬、同中外國語學校長及び增戶師範學校、師範生徒總代の祭文等ありたり

平南線の發着時間

平壤鎭南浦間鐵道局に於ては十月十六日より平壤鎭南浦間運輸營業を開始し一般旅客荷物の取扱を爲すべし但し當分一等車を連結せず發着時間左の如し

	午前	午後
平壤發	七時三〇分	五時〇〇分
大平發	七時五六分	五時二六分
岐陽發	八時二四分	五時五四分
眞池發	八時四七分	六時一七分
鎭南浦着	九時一〇分	六時四〇分
	午前	午後
鎭南浦發	十時〇〇分	七時三〇分
眞池發	十時二五分	七時五五分
岐陽發	十時五二分	八時二二分
大平發	十一時一六分	八時四七分
平壤着	十一時四〇分	九時一〇分

安奉線の時間短縮

滿鐵會社にては來る十一月三日安東縣雞冠山間約四十八哩の廣軌列車開通式を擧行すると同時に安奉間の時間改正を實施する趣きなるが此結果安東縣奉天間の運轉時間に若干の短縮を見るべきは勿論にして尙ほ明年一月より石橋子本溪湖間廣軌開通と共に奉天、安東縣間に急行列車を運轉し現今草河口にての一泊を廢して全部を一日に到着すべく更に時間を改正する筈なりと尤も其際と雖も現時の奉天石橋子間の廣軌は本溪湖まで延長されたるものなれば本溪湖にて從來の輕便線に乘換へ更に雞冠山にて再び廣軌に移り安東縣に到るべき始末なりと

寺內總督の巡視

（水原勸業模範場）

寺內總督は十二日午前八時五分南大門發列車にて隨員數名と共に水原に赴き同勸業模範場其他を視察し午後歸京せり

●**平南道收穫豫想高** 平南道內務勸業課に於て調査したる所によれば本年道內各府郡の米及雜穀收獲豫想高は左の如し甑山郡が特に減收を見しは霜害のために外ならずと云り

府郡	米收穫豫想	雜穀收穫豫想
三和	一二、一四四	一九、一六四
平壤	二四、三六八	一五三、一〇二
中和	二七、七三三	一六、二一二
成川	四五四	四一、六五九
肅川	二四、七八一	一、一五三
祥原	二、〇〇一	一八、七二二
江東	一、七四一	六一、五五一
甑山	二、六〇一	二五、五五七
陽德	四四三	二六、四九三
价川	二、三二〇	三三、五五〇
江西	三二、一〇四	二三、九一六
安州	五七、四八二	八、三七二
順川	三、〇三四	五二、九四八
龍岡	二二、六〇二	七六、三五四
永柔	四五、八一二	四一、六六〇
順安	一二、一四四	二二、七五二
孟山	二三六	二、九九六
德川	一六〇	四七、一一二
寧遠	一五七	三四、九七二
合計	二七二、七六八石	七二八、二〇五石

●**鶯農家一行の消息** 東拓主催に係る鶯農家朝鮮觀察團の一行は十一日木浦港に於て官民より熱誠なる歡迎を受け同地にて棉花其の他を視察し十二日午前金堤着の旨通報あり

●**京都商業生徒來仁** 京都市立商業學校生徒四十七名は見學の爲め四名の教諭に引率せられて十二日午前九時四十分着にて釜山より來仁したるが午後より市中を觀覽し一泊の上十三日午後六時十分發にて入京の筈

●**京都實業學校生徒** 京都實業學校生徒五十名は十二日午前八時二十分南大門着列車にて入京せり

●**石塚長官北方巡視** 石塚取調局長官は總督の歸任後北朝鮮の方面を巡視すべしと

●**榊原參謀長の出張** 榊原軍司令部參謀長は守備隊巡視の爲十三日開城へ出張され同日歸任の由

●**小倉主計監の出張** 小倉主計監は十一日南大門發夜行列車にて大邱へ向け出張したり

●**新任軍醫部長着任** 軍司令部附軍醫部長大西龜太郎氏は家族同行十三日午後八時五分着任の筈

●**小原男爵の歸京** 朝鮮貴族授爵の爲め入京せる宗秩寮主事小原駩吉男の一行は十一日午後十時四十分南大門發列車にて歸東の途に就かれたり

●**關野博士の出發** 滯京中なりし關野工學博士は十二日午前九時南大門驛發の列車にて歸京せられたり

●**三浦書記官來期** 公使館一等書記官に轉任せし前京城理事官三浦彌五郎氏は十七日頃東京出發來京すべし

●**小林深田の兩氏** 前京城財務監督局長小林重氏及び前農商工部書記官深田千太郎氏は十一日午後十時四十分南大門發列車にて歸鄕の途に就きたり

●**德富蘇峰氏歸東** 先頃來滯京中の國民新聞社長德富猪一郎氏は來る十四日午前南大門發列車にて歸東する筈

●**吉松稅務官赴任** 全州稅務官に新任されたる吉松憲郎氏は十二日午前九時南大門驛發列車にて赴任の途に着く

●**高雄通譯官着任** 京城府通譯官に轉補したる高雄謙三氏は十二日夜着任

●**木杯下賜** 左の諸氏は水原小學校增築費の內へ金員寄附したる爲め去月九日附統監府より木杯を下賜せらる
中野與吉 鹽川一太郎 阪手重三郎 眞鍋貞一 本田幸介 豐水眞里 島津久喜 近藤虎之助 三崎三郎 古迫角次郎 宮原忠正 向坂豐三郎 飯田章 岸秀次 杉本太一郎 奧園悅次郎 眞野泰象 庄司政太 守屋慶三

公人私人

▲鹽坂長吉（光濟乘組技師）十一日入京
▲淺岡次郎（同上）同上
▲前川益次（工學士）同日浦尾投宿
▲副島八十六 十一日新義州へ向ふ

▲**京城手形交換高**▼

月	金高	枚數
十二日	九四、二四七、三三七	五九六

▲**京龍兩驛の貨客**▼

▲南大門驛乘降客 十一日の分如左
乘車客 七三〇 下車客 八一四
乘車賃金 一、七七九、四四

▲南大門荷物扱高 十一日の分如左
發送 四入屯 到着 二二四屯
送賃金 六六〇、五三

▲龍山驛の乘降客 十一日の分如左
乘車客 三一八 下車客 二一八
乘車賃金 三一九、九六

▲龍山驛荷物扱高 十一日の分如左
發送 一〇六屯 到着 一一七屯
發送賃金 二二七、七六

▲**治外法權**▼

過日本紙が一擊を加へた所謂朝鮮煙草會社の連中は、まだ慾の眼が覺めぬと見へ、其非望を遂げんと運動を續けて居る、彼等の心事は全然非國民的だ、記者は飽迄彼等に反對する▲一体元の總務長官鶴原が假令頼まれたにせよコンナ非國民的計畫に名を列ねたのは大間違いだ、ヨシ我利我利連が頼んで來たら、ナゼ說諭をして追拂はぬか、元の長官も我利黨に擔がれる樣ではダメだ、嗚呼水の流れと人の行末かね▲朝鮮新貴族は爵位と恩賜金とを併せ戴いたから喜んで居なければならぬ筈だ、トコロが實際に就いて見ると彼れ等は驢馬が鑛石でも背負つた如く、經濟的に社會的に他人の知らぬ苦勞を感じて居る▲第一は彼等が貴族と云ふ事で體面を保たねばならぬ事だ、第二は貴族と云ふ事で家政が膨脹を來した事だ▲第一の點は其筋に於て大目に見てさへヤれば當分の處禮遇停止なんどの事も無くて濟むかも知れぬ、併し第二の點は彼等の到底堪得ざるところだ▲假令ば男爵が公債二萬圓を拜領した、此公債の利子が年五分の一千圓だ、一千圓と云へば一ケ月八十幾圓だ、八十幾圓は下級判任官の月俸だ、トテモ家政の膨脹に應ぜられソウにも無い▲總督始政紀念繪ハガキに香椎宮と神功皇后の御肖像とが載つて居る、三年前の天長節に發刊した本紙の初號にも神功皇后の御肖像が載せてある、本紙が併合の前後に於て獨り發行停止の厄に逢はなかつたのは全く神功皇后の加護だ▲其筋で京城の水道を買收さるゝとの噂がある、本當なら物にしたいものだ▲電車會社が區域變更をやつた、岡崎專務も少しは判つて來たね。

朝鮮王家の幸福
▽布哇土人の韓國併合觀

ジョン、エフ、ボルバン氏と云ふは布哇の老偉人米布合併前は布哇王族の忠臣にて、大臣の椅子にも就きたる布哇土人中知名の人なるがこの頃我が大日本天皇陛下に一頭の名馬を獻せんとの赤心を帝國總領事に通じて御嘉納の御沙汰を待ちゐる由今回同地新聞に記載せる其談話に據れば「曩に米布合併に先だち浪速艦を率ゐて來れるは東鄕大將なり當時余は氏に語りて布哇の急を救はんとせば今一艘の軍艦を派遣せられたしといへり氏はこれを諾したるも布哇は遂に今日の如く亡びたりこれを思ふ毎に予は東鄕大將を想はぬ日とてはなし然るに近時韓國併合の飛報を聞きぬ米布合併の當時を想起して一時は異樣の感に打れたりしもその併合條約文を見てより予は日本

天皇陛下の聖徳に感泣

天皇陛下の御聖徳の厚きに感泣したりき　陛下は韓國を併合すると共に

韓國の皇族に對して禮遇

韓國の皇族に對して禮遇を極められたり布哇は米國に併合されたるもリヽオカラニ女王は今如何なる境遇にいまし玉ふや悽慨の念に堪へざるにても朝鮮王室は幸福なる哉予は日本　天皇陛下を世界一の英傑として崇拜するの念一日も去らず　陛下に對し予の微意を申表さんがため

名馬一頭を獻じ奉らんとの考へを

名馬一頭を獻じ奉らんとの考へを起しぬ今予の所有する牧場より選拔したる名馬は布哇一といふも過賞にあらず齡未だ二歲に達せざれど黑毛の駿足にして性質從順なり依つてホノルヽ駐在の帝國總領事上野專一氏に向ひ日本外務省にまで予の微意を通せられたしと願ひ出でたるは八月下旬のことなり萬一御嘉納あらば死して尙餘榮あり」云々

毒婦奥村さめ
▽樓主踏み倒し專門

料理屋飮食店等の樓主連が奸策を弄して酌婦どもを虐げたることは屢々筆誅する所あり加ふるに警察官署の取締り嚴重となりし爲め多くは改悛せし模樣なるが一方酌婦仲居等は樓主連の非行を許かるゝや其の機に乘じて無頼漢と結托して主人が苛酷なりとか何んとかを云ひ立てに足拔きするやら前借踏倒しの暴飮を廻らすやらの噂は度々耳にせしも元來自から好んでする酌婦仲間なれば一筋繩で行く奴の少きは當然の事ながら此れは又煮ても燒いても食はれぬ海千山千の莫連女あり生れは福岡縣企救郡足立村にて奥村辰造の二女さめ（二十四）と云ふは性質での淫奔女とて兩親の取れぬ内から男狂ひに憂身を窶し親兄姉に一方ならぬ心配を掛けた結句は土地にも居堪らず小倉市に逗ひ出し或る小料理店に酌婦として住み込みたるがあらぬ道に踏み迷ふ緒端なりけり好んで成つた稼業なれば少時の間に男の鼻毛を算むに妙を得て實父の方へも多少の送金をなす程になりしより茲に實父も慾が付き遂に小倉遊廓に娼妓として賣り飛ばしたりさらぬだに既に浮かれ男を手玉に取りし經驗もあれば間もなく此所にて某請負業者を丸め込み身請けされて共に朝鮮に押し渡り一時仁川に同棲せしが根が多情者のおさめとて一人斗りは守つて居られず誰れ彼れと浮名を唄ばれしことも度々なるにぞ流石の男も愛想を盡かし水原の或る料理店に賣飛ばされしも決して自分が惡いと思はず結局此の方が氣樂なと相變らず男たらしに從事し居り昨年の秋口入屋某の周旋にて京城中の新地常盤樓に前借金三百圓にて鞍替へだて子と名乘りて稼業中も何とかして前借を踏み倒さんと企てしも自分一人にては覺束なしと同所取締事務所河口某の雇人山本某と關係を付け徐に踏み倒しの策を講じつゝある中樓主に感付かれ山本は河口より放逐されしにぞ同人は據なく北米倉町料理店花の家に食客として入り込むに至れり一方常盤樓にてはだて子も虫が付たれば其儘置くは面白からずと思ひ好き口もがなと探し居りしに同所山海樓が其樣こととは夢にも知らずだて子が一寸澁皮の剝げて凄腕を持てるを聞き知り抱へたく思ひ居たる矢先とて一議に及ばずだて子を抱へ込み大切に待遇ふにぞだて子も最初の間は眞面目に働き居たるが漸次に毒婦の本性を發揮して又しても惡策を講ずる迄に至りたり（つゞく）

木浦沖　投身の判明　原因
▽第三期の梅毒を苦にして

本月三日仁川よりの木浦丸搭乘客廣島縣加茂郡東三和村高尾勉（二五）が木浦沖に於て投身せし原因に就ては其の多くが病苦を悩みてかくも敢へなき最後を遂げたる者なるべしと推斷せるに果して之に違はず其の兩親に宛てたる遺書を見るに先づ養育の高恩を謝し然して今や先立つ不孝は此上なけれども自分は最早梅毒の第三期に入り到底治療の望み無ければ生きて死に優る苦痛を見んより寧ろひと思ひに彼の世に旅立ち現在の苦患を免れたく決意し朝鮮海の底深く投身の覺悟をなせし次第なるが兩親始め親族の方々の悲嘆は思はぬにはあらねども今や死に依つて樂を得んとするの果敢なき身は之を顧みるの遑なければ幸に御了察あれ云々とあり全く梅毒三期の激烈なるに到底治療の望み無き爲投身せる事判明し遺留品は鄕里に送還せりと云ふ

禪宗坊主の公判
▽僞證罪にて酌婦の留置

大坂市南區難波西神田町八百七十七番地當時旭町二丁目十番戶大韓寺僧侶田中周信（三四）は眞言宗の御室派仁和敎會員なるが彼が旭町一丁目料理店松葉亭藝妓玉子宛郵便爲替券面金二圓を竊取して長谷川町二丁目料理店一樂樓に登樓し遊興費に支拂たる事南部署川副刑事の探知する所となり引致取調中なりし事は本月一日の紙上に大韓寺の惡坊主と題し報導せし通りなるが身柄は逃走の恐れなき爲め放還該事件は檢事局に送られ喜頭判事秋據檢事の掛りにて第一回公判開廷あり被告辯護人として高橋辯護士出廷し同氏より一樂樓酌婦古野さく旭町一丁目阿川方下女田中とよ永登浦在監人森本宇三郎の三人を證人として召喚申請し川副刑事の報告を駁し閉廷し昨十二日第二回公判開廷あり傍聽人は大韓寺の信徒四五十名の男女中には開進亭仲居藝妓松葉亭の藝妓其他料理屋の酌婦等も多かりき證人森本宇三郎の證言の大要は監獄内に於て知り合となりし淸水某を大韓寺田中僧侶に紹介したる事實ある旨田中とよの證言は被告田中が一樂樓に登樓し酌婦古野さくを敵娼に遊興したりと主張し當夜は同人に對し說敎して夜は遲く迄さくの許に居り他に行きし事實なしと稱するものにて何れも被告に利益の證言なりし古野さくに對する證人訊問は密淫賣云々の語ありしを以て傍聽を禁じ訊問終ると同時に秋據檢事は證人古野さくの證言は警察署並に檢事廷に於ての申立と當法廷に於ける申立と相違且つ曖昧なる點あるを以て僞證罪被告人として直ちに豫審判事の拘引を求められん事を判事に求め本件は僞證罪の確定に至る迄中止の申請されたり茲に於て判事は檢事の申立通り裁判を中止し古野さくに對しては豫審判事の拘引を求め即時留置されしが該犯人は田中側の主張たる森本宇三郎の紹介に因り大韓寺に厄介になり居りたる淸水某なるや否や疑はしきも川副刑事の報告に郵便物を配達したる當時受取りたる本人の人相が田中に類似し居る事は一の問題なる可し

●若い女へ好い殷鑑

既報の萬引婦人廣島縣人奥村しを（十九）は昨十二日懲役一箇月に處せられ小川辯護人より申請通り執行猶豫三箇年の恩典を與へられたり閉廷後秋場檢事は被告に對し執行猶豫の恩典を受けたる者の注意に付懇篤に說諭されしが被告しをが檢事に告白したる大要を聽くに自分は實母及繼父ありて親は相當の資產を有するが不心得の爲め公州に於て有夫の某官吏と關係して懷姙し兩親の傍は勿論附近に面目なく不得已來京したるに掏摸の被害を受け困難の餘り惡事を爲したるものなりと若い婦人達は之れに鑑み玉ふべし

●送金電報に注意

釜山南濱町二丁目下宿屋伊豫屋方に自稱東京市日本橋區堀留町一丁目一木彌三郎（四六）と稱し去る九月廿九日頃投宿し電報を以て目下朝鮮實業視察中の異物の同人留守宅に宛て金子送金方申送りたれば何か至急に金の入る事出來たるならんと留守宅にては其の言ふが儘に送金したれば同人はマンマと二百圓を詐欺したるが後に至りて始めて例の電報の詐僞の手なりと分明したるも其の時は既に同人は何處とも無く逃走したる後なりしとは油斷の無らぬ曲物ならずや

●建部の判決不服控訴

既報の建部喜三郎草野文次郎は不法監禁罪として有罪の宣告を受け判事幷に檢事の同情に因り二ケ年執行猶豫の恩典を與へられしにも係らず彼は如何なる自信を有するか不明なるも右裁判を不服として控訴せり

●淫奔女の保護願

廣島縣三調郡貫村字東野山田國三郎二女タマノ（十八）は數年前平壤に於て父と共に某所に獨立して洋食店を開きたるに四年程前に雇入れたる新長秀雄（二二）と私通し此程父に感づかれ秀雄は去月二十五日解雇せられたるより平壤を立去り京城に來り在平中に監獄の馬丁に推選したる森岡義一なる者を郵便箱に使ひたるまゝと手紙の往復をなし居りしにたまのは秀雄を慕ひ去る九日朝突然家出をなしたるにぞ父より早速保護願を出したる所京城に向け出發したる事發見され龍山憲兵分隊に打電ありたるより龍山特務佐藤上等兵出張し十日午前十時五分龍山驛にて取押へ目下保護中なるが京城に居る秀雄より白々しく憲兵隊へ電話でタマノの保護理由を聞きしとか

●軍人の北漢山登

龍山の軍司令部重立者發企となり來十六、十七の兩休日を倖ひ十六日北漢山の紅葉狩りを兼ね遠足大運動會を催すべき筈にて昨今贊成を求めつゝあるが總數將校百二十餘名なれども全体の贊成は勿論覺束なきも頗る氣乘し居る事とて百名位は大丈夫ならんと云へば隨分盛大なるべし尙ほ當日は早天獨立門附近に集合し北漢山の紅雲を踏破して黃昏方歸來の豫定なりと因に記す北漢山の紅葉は昨今尤も見頃にして滿山粲として雲錦の如くなれば爰一週間登山の墨人騷客も定めて多からんと

●他の衣類を食ふ

京都府生れ當時永樂町三丁目三十番戶雜貨商森元次郎（四四）は本年七八九の三ケ月に渉り永樂町一丁目料理店光昇樓より衣類の仕立を內緖の妻士嶋あいに依頼されしを奇貨とし御召拾外十三點（代三百四十五圓）を入質費消したるより告訴され南部署に引致取調の上一件記錄は檢事局に送らる

●仁川の流行病者

仁川に於ける本年一月以來の流行病は僅かに赤痢患者九名擬似コレラ二名なるが中擬似コレラ患者二名は死亡赤痢患者九名の中四名は死亡し四名は全治退院したれば目下入院中の者は一名のみなりと云ふ

●敷島の嫖客數

一昨夜の登樓客は四十一名にして消費高が百廿二圓十錢

●併合紀念盃發賣

當地陶器商中屆指の大商店たる本町二丁目の陶榮商店にては韓國併合を紀念とする爲め意匠を凝らし其製作方を京都粟田口窯元に托したるが此の程に至り出來上り着荷したれば愈々十三日を以て之れを賣出せるが內側上部に櫻樹に旭日旗をあしらい中央に雌雄の鷄の之れを仰げる樣出し下部に韓國併合紀念と金字にて出したる優美なるものなり一個三十錢十個以上は相當割引すべしと

廓のうわさ

▲井門本店の蝶々の女らしい優しいところに打込んで此の頃南山町の初音から度々口をかけるハイカラ樣が御座んすが淸華亭のお多福姐さんが聞いたら嘸怒らるゝ事なるべしと心配いたし居候▲同じ家の雛蝶はお客さすに妙を得て居るとの事に候ツイ過日も本町の時計屋のボンチを三日間も生捨て歸さゞりし爲め貰ひたての花嫁さんは癪に閉られて大騷ぎにて之れ有り候ひしが此れは雛蝶が惡い理由ではなくボンチの不覺に御座候、鼠小僧は泥棒でムる、泥棒猫は藝妓で御座る▲京城にも神奈川縣人は尠なからずと存じ候に一回も縣人會を開催致されず候如何の都合に候や萬一今後御催し候はゞ私ども新町藝妓はふるつて出席致すべくと申居候妓ども御座候實際新町藝妓の百五十四人中の八十三人迄は神奈川種にて候御奮發なさるべく候▲京城樓の月子が申し候に妾は決して新聞記者が嫌いと申したではなく三面記事が嫌ひと申したまでに候と愚痴をこぼし居り候▲新町にてのお婆さんは玉家の可祝の三十歲に有之候若いのは高島屋の小富初音の十八歲に候（花柳雀）

今日の運勢

十月十三日舊九月十日四綠赤口辛亥除△一白●鑛山金屬の業務に吉紛爭葛藤の端を釀成し易し△二黑●賣買取引貸借違錯多し新婚談旅行見合せの事△三碧●新事旅行に忌む音信特異を報ずるあらん△四綠●業務上故障あり交際上衝突ある日なり新事婚談共同組台連帶の事に忌む△五黃●盜害色情の害を戒しむ新事見合せの事示談決算淸算の事間違易し△六白●新事旅行轉住に凶面接委囑協議相談に吉△七赤●新事見合せの事共同組合婚談に忌む紛爭注意の事△八白●婚談共同組合連盟の事に忌む向訂約賣買金談貸借効無し△九紫●利金ある日なり又起業開店披露婚談協議に吉

●天氣豫報（自十二日午後六時至十三日午後六時）（本町五丁目三一館判斷）
北風晴後曇
十一日（華氏）最高溫度 六六、四　最低溫度 三五、二

朝鮮名産

鶴乃箸

〇鶴の骨細工種々
〇鶴の羽細工種々
〇朝鮮土産品種々

製造發賣元　京城本町三丁目　電話二五〇　振替朝鮮四八　海市商會

特約發賣元　京城本町四丁目(電話九五六)　日之出商行

特約發賣元　京城本町六丁目(電話二一〇)　西崎本店

新荷着

御用心なさいまたさまれすぞ

アイボリー石鹸の購買法

一包裝……表面に斜に日本文字で「アイボリー石鹸」と入れてありますから小供にも見わけがつきます

一商標……三日月に星の繪がかいてあります

一石鹸の色……白色ですけれど象牙色です、豆腐の樣に白いのは眞正の「アイボリー石鹸」でありませぬ

一形……二ツつなぎですから、切つて使用になれば便利です

一無味無臭……少しも「アルカリ」性分を含まないからいやな味も臭もありません

一浮石鹸……の元祖です、夫れに泡立つことは他の石鹸より多くて使用の後洗ひ氣持がさつぱりします

一販賣店……化粧品店、藥店、雜貨店、どこにも賣つています

アイボリー石鹸の鑑別法

ミュンヘンビール

●アルコール分少く滋養分に富み御婦人又は下戸の御方にも飲み易きは此ビールの特色なり

●飲料界未曾有の大好評を博せるもの實に偶然にあらざるなり

旅館

京城南山町三丁目

京城ホテル

電話長一二三番
四九二番

日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(二圓)
三等(一圓五十錢)

本田旅館

電話一〇六番

本町一丁目元藤隈旅館は當方所有の家屋にして同旅館に貸與致し居候處今回主人歸國に就き全然當方に引取り本田旅館と改稱し一部を改築し室内の裝飾を新たにし專ら衛生を旨として諸般の設備を改善仕り且つ親切丁寧を生命として營業可仕候御案内の如く當旅館の位置は京城府尹警察署郵便局民團役所及新築韓國銀行等に接近し停車場への道程も近く左は本町大通り右は電車の通路を控へ交通の便は市内第一等に位し且つ頗る閑靜なるが上空氣の流通も至つて宜敷く蓋し旅館として間然する處無之と竊かに自負致し居候何卒四方の御客樣以前に倍し御引立の程奉願候

京城本町二丁目元理事廳前(藤隈旅館跡)

毛織物直輸入並に洋服調進商

京城本町一丁目

本田羅紗店

長電話百〇六番
電略(ホン)又(本)

發賣廣告

朝鮮總督府專賣局開城蔘政課御製造

糖蔘(人蔘砂糖漬)

高麗蔘の靈劑たるは既に確認せらる所今般蔘政局にて精製せられたる糖蔘は是れを砂糖漬こしたるものにて永遠腐敗變味等の恐もなく老幼一般の咀嚼に適する珍重なる滋養に有之殊に容包裝共に優美高尚にて御土産御見舞品には最も適當のものに御座候今回弊店許可を受け弘く發賣仕候幸に御賜顧御用命の程奉願上候

朝鮮京城本町三丁目

發賣元　合名會社　明治屋京城支店

電話　壹貳七　壹貳貳番

各地賣藥店並に雜貨店に有り最寄にて御求を乞ふ

京城光化門通

淺田洋服店

店主　大島專藏

(電話四百十二番)

總督府御制服調進

弊店は鮮土に於ける洋服業の開祖として將又卒先者として斯道の奬勵に努め汲々營々爰に十七年の星霜を閲するに至り弊店の調製服に對して世既に定評あり就中御制服は弊店の最も得意とする所諸官衙を始め殊に韓皇陛下時代より今日の李王殿下御一族の御用は依然として特定せられ居り弊店の光榮と致す所に御座候豫て英國に注文致置候制服地等今回多數到着仕候に付誠意熱心に御調製可仕候に付何卒御用命の程奉希上候

敬白

朝鮮各殿下
諸官衙　御用

京城光化門通

淺田洋服店

大島專藏

電話長四一二

平壤大和町

淺田洋服店出張所

電話長四一三

京城本町四丁目

印章彫刻
ゴム印彫刻

諸官衙御用達

赤帽子號印舖

奥野岩太郎

電話九三番

齒科治療

本町六丁目(欲そば横町)

ドクトル　中村安子

女子見習募集委細面談

(電話一五八三)

諸官衙御用

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋畫[illegible]
防腐アシン
穀物食鹽
諸染料類

發賣販賣

東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命[illegible]代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
[illegible]

藤田合名會社

本社　京城明治町二丁目(電話二三〇番)

出張所　東京京橋南鍋町一丁目(電話新橋三六九二)　東京地十番

英國製

ライト號

附屬品付

正確價七十圓

車體堅牢にして優美紳士用實用に適す

輸入新荷着

歐米各國自轉車直輸入商

京城本町二丁目

織居商店自轉車部

電話四百八十番

朝鮮牛種及牛乳改良元祖

消毒純良

高等牛乳

京城南大門外

荒井牧場

(電話一〇五六番)

龍山本町三丁目

龍山販賣所

(電話二〇二番)

當場飼畜の乳牛は悉くエーアシャ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり

當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし

當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候

當場には御進物用牛乳切手發賣致候

其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

義齒術一般

京城永樂町二丁目(赤門前)

榊忠司

取次電話一五八三

仁川京町一丁目六番地
(區裁判所横)

後藤法律事務所

電話五〇六

▲下痢に苦しむ人
▲惡疫を恐れる人

▲此時理想の腸胃藥

ヘルプを活用せよ

初秋は猛夏の餘波を受けて一般腸胃に故障多く惡疫の跋扈せんとする時なれば、何人もヘルプの活用を怠るなかれ、理想の腸胃藥ヘルプは、下痢症に偉大の効力を有するのみならず、寢冷、腹痛、食傷、吐瀉等腸胃の障害一切を驅除すれば

惡疫を絶對に防止す

腸胃新藥

定價　一五錢　廿錢　貳拾錢　五十錢　一圓

効能

◎痢病◎腸加答兒◎時候あたり◎水あたり◎寢冷◎腹痛◎食傷◎吐瀉等一切の下痢を止め腸胃を整へ惡疫を未發に防ぐ

●赤痢、窒扶斯、虎列剌等の流行は多く下痢の放置と腸胃の養生を怠るに起因す故に腸胃弱き人は勿論、何人も、昨今の季節には朝夕二錠宛のヘルプを用ひよ……腸胃健全に惡疫を防止す

代理店

京城南大門通三丁目
振替口座韓國十六番

新井藥房

醫學士木村先生方劑

健胃整腸散

定價　十錢　廿錢

○腹痛、下痢、腸加答兒、赤痢(下り腹一切)の最良藥

發賣本舖　京城明治町三丁目(電話四二七)　小川藥店

▲本品は市内各藥店にあり最寄にて御買求を乞ふ▼

醇良清酒

京城明治町

大塚京城支店

(電話四百一番)